

日本と世界のクラフトマンシップを応援する
「スローファニチャー」の会
設立趣意書

近年、家具・インテリアの分野において、ファストファニチャーともいうべき、数年で「消費される」家具が普及しています。安価な価格に見合ったファストファニチャーが受け入れられるのは、ファストフードやファストファッションの例を見ても頷けることです。一方で、伝統的な食材を使ったスローフードや、簡単に使い捨てしない長く愛せるスローファッションの価値が見直されているのも事実です。家具・インテリアの分野でも、伝統的な職人技と誠実なものづくりの精神（クラフトマンシップ）に支えられた「スローファニチャー」の価値を広く伝えていきたいと私たちは考えています。

スローファニチャーとは、デザインや機能、使い心地が優れているだけではなく、長い期間、安全に、機能や使い心地を損なうことなく使い続けられるものです。そして、その背景にストーリーがあるものです。デザイナーがどういう思いでデザインしたのか、作り手がなぜその素材を選び、職人がどのような思いを込めてそれを形にしたのか。自然や人の温かみを感じられるものです。

いいものを長く使う、という価値観は日本人の中に深く根付いた価値観です。長い目で見れば、安価なものを使い捨てにするよりも、いいものを長く使うほうが経済的でもあり、また、リースやレンタルなどの手法を使えば、短い期間であっても負担を軽くしながら使うことが可能です。

人生の舞台となる住まいに、使い心地の良い家具や、愛着を持って長く共に暮らせる家具があれば、日々の暮らしは潤い、心豊かになります。それを知り、経験する機会があれば、より多くの人々が、人の手で作られた、スローファニチャーを使いたいと思うのではないのでしょうか。

私たちの第一歩は、その機会を多くの人に提供することです。スローファニチャーは、作り手も、販売者も、ファストファニチャーに比べるとずっと小規模で、個々の発信力は限られていますが、複数の事業者が協力することで発信力を強めることができます。

スローファニチャーに関わる事業者が協力して、良い家具のある暮らし、良い家具のためのものでづくりなど、良い家具に関する情報発信をすることで、多くの人々に「人」が丁寧に作ったものを使う喜び、自分の住まいに愛せるものがある喜びを知っていただき、そのことを通して、クラフトマンシップに裏打ちされた丁寧なものでづくりの継続と継承につなげていきます。

2019年4月24日

発起人代表

株式会社大塚家具 代表取締役社長 大塚久美子

発起人代表

飛騨産業株式会社 代表取締役社長 岡田 賛三